

機械器具 16 体温計

管理医療機器 電子体温計 (JMDN コード：14032010)

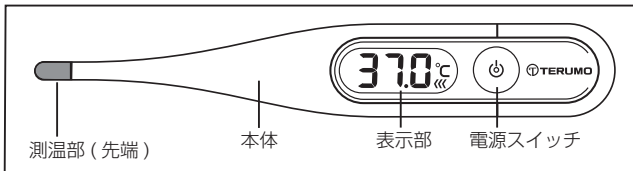
テルモ電子体温計 P265

【警告】

- ・ 電池や電池カバーは子供の手に届かない所に置いてください。
 - ・ 子供だけで使わせないでください。
- [本製品の先端部をかみ切って飲み込んだり、けがをする可能性があります。]

【形状・構造及び原理等】

1. 各部の名前



付属品：収納ケース、モニター用電池 (内蔵)、取扱説明書 (保証書付)、医療機器添付文書 / EMC 技術資料

2. 体に接触する部分の原材料

- ・ 測温部：SUS 304 ステンレススチール
- ・ 本 体：ABS 樹脂 (抗菌剤使用)

3. 本体の寸法及び重量

- ・ 外観寸法：約長さ 126mm × 幅 20mm × 厚さ 12.5mm
- ・ 質量：約 15g (電池含む)

4. 電気的定格

- ・ 電源電圧：DC1.5V (LR41 × 1 個)
- ・ 消費電力：約 1.5mW
- ・ 分類：内部電源機器・BF 形装着部・IPX7

5. 電池寿命

- ・ 予測検温：連続使用で、約 2,500 回使用することができます。
- ・ 実測検温：連続使用で、約 800 回使用することができます。

6. 原理

本製品は、人の体温を測定するための装置であり、測温部、本体、電源スイッチ、表示部等からなり、測温部に伝わった温度を感温素子により電気量に変換し、その電気量を LSI により演算処理し、平衡温を予測した後、測定値をデジタル表示するものです。

7. 仕様に係る事項

- ・ 測温範囲：32.0 ~ 42.0℃
- ・ 温度精度：最大許容誤差 ± 0.1℃ (恒温水槽で実測測定した場合)
- ・ 使用条件：周囲温度 10 ~ 40℃
相対湿度 30 ~ 85% RH (ただし結露なきこと)

【使用目的又は効果】

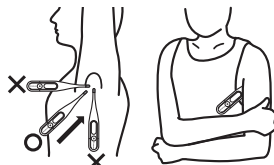
本製品は、測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示する装置です。

【使用方法等】

- (1) 電源スイッチを押して電源を入れます。
- (2) 「ピッ」とブザーが鳴り、全点灯表示に続いて、前回の検温値が表示され、単位マーク「℃」が点滅して、測定状態になります。
- (3) 測温部を腋下に密着させ安静にします。
 - ① あらかじめ腋下の汗をふいてください。
 - ② 測温部 (先端) を腋下のへこんだ部分にななめ下から 30° くらいの角度で押し上げて、密着させます。
 - ③ 測温部 (先端) がずれないように、腋をしっかり閉じます。
- (4) 予測検温の場合：

検温開始後、約 60 秒で予測検温終了のブザー (連続 3 回) が鳴りますので、予測検温を確認します。

※正しい方法で測定を行わなかった場合や血行動態・体躯等によっては予測精度が保証されない可能性がありますのでご注意ください。



(5) 実測検温の場合：

- ① 実測検温を行う場合は、予測検温終了のブザーが鳴っても、体温計を腋下から出さず、そのまま検温を続けます。検温開始から約 3 分後に実測表示に切り替わります。
 - ② その後もそのまま検温を続けると、検温開始から約 10 分経過後に、実測検温終了のブザー (連続 5 回) が鳴りますので、その時点の実測検温値を確認します。
- (6) 検温が終わりましたら電源スイッチを押して (1 秒以上) 電源を切ります。
- (7) ご使用後は乾いた布等で水気をふき取って、清潔な状態で付属の収納ケースに戻してください。
- (8) 電池交換の方法は、取扱説明書をご参照ください。

【使用上の注意】

- (1) 腋専用です。腋下以外で検温しないでください。
 - (2) 運動、入浴、食事の後の約 30 分間は検温を避けてください。
 - (3) 周囲温度が 32℃ 以上の場合、測温部を水で冷やしてから測定し、周囲温度の影響を受ける前にすばやく表示をお読みください。
 - (4) 人の体温以外の測定には使用しないでください。
 - (5) 修理、改造、分解は絶対に行わないでください。
 - (6) 超音波洗浄はしないでください。[故障の原因となります。]
 - (7) 水中に放置したり、水道の蛇口に直接あてないでください。
 - (8) 曲げたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。
 - (9) 電池及び電池カバーは、乳幼児や子供等がけがをしたり、飲み込まないように十分注意してください。電池を飲み込んだ場合、化学やけなどに至ることがありますので、直ちに医師に連絡して指示を受けて下さい。
- ※ 添付文書及び取扱説明書に従わない使用がなされた場合及び勝手に何らかの修理、改造、分解、再調整がなされた場合について、製造販売業者は一切の責任を負うことができませんのでご注意ください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

日光や紫外線等の強い光が当たる場所に保管したり、湿気が多い場所、ホコリが多い場所、腐食性のガスの発生する場所に保管しないでください。体温計は、先端部を守る目的で、収納ケースに収めて保管してください。長期間使用しない場合、電池は取り外して保管してください。

2. 耐用期間

標準的な耐用期間の目安：5 年 [自己認証 (当社データ) による]

【保守・点検に係る事項】

- (1) 測温部 (先端) を消毒する場合には、消毒用アルコールを含ませたガーゼ等で軽くふいてください。また、測温部を長時間アルコールに浸漬したり、熱湯 (50℃ を超えるお湯) で消毒しないでください。
- (2) 汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布で汚れを落とした後、洗剤をよくふき取ってください。シンナーやベンジン、アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩、クロルヘキシジングルコン酸塩、次亜塩素酸ナトリウム等は絶対に使わないでください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：シチズン・システムズ株式会社
製造元：西鉄城精電科技 (江門) 有限公司
CITIZEN SYSTEMS (JIANGMEN) CO., LTD.
中華人民共和国

発売元：テルモ株式会社

お問い合わせ先

テルモ・コールセンター

電話：0120-008-178 (9:00 ~ 17:00 土・日・祝日を除く)

取扱説明書を必ずご参照ください